

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	兵庫県立看護大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	ユビキタス社会における災害看護拠点の形成		
中核となる専攻等名	看護学研究科看護学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 山本 あい子 外16名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点構想は、ユビキタス社会において、災害発生前の備えから始まり、災害直後から中・長期までを視野に入れて、災害によって生じる生命や健康への被害を最小限に抑えるための看護の支援方法と情報ネットワークを構築することを目的としている。本拠点は、3研究部門から構成され(情報基地の整備、ネットワークの構築、看護ケア方略の開発)、質問紙法・面接法・アクションリサーチ法などを用いて、相互に連携を取りながら本構想を推進する。拠点活動は、災害の調査(実態・追跡)とそのデータベース化、システム化、情報提供のプログラムの開発、ネットワークの構築(看護専門家支援・住民間・国際)などを行う。本事業終了の5年後には、1. 情報連携システムの構築、2. 支援ネットワークの構築、3. 看護ケア方略の開発、4. 国際機関との連携の確立、5. 国際災害看護学会の設立、6. 災害看護分野の人材の育成を行い、もって世界の災害看護学発展の拠点となることをめざす。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>大震災の体験とその実践展開を基盤に災害看護という看護学の重要な学問領域を生み出そうとするユニークな構想である。実践学としての看護学の発展に資する内容であり、また、地域住民等への還元性も期待できる。次年度の県立大学統合化を含む将来構想に拠点形成が明確に位置付けられており、支援体制も充分であることが評価できる。</p>			